



自治連  
だより

# さがみだい

自治は笑顔と協働から

Vol. 36

2019(平成31)年1月1日 発行



出発式・たくさんの方が参加

## 私たちのまちは、私たちが守る!



相模台地区自治会連合会は、平成29年4月から、青パト（屋根に青色回転灯を載せた車両）による防犯・交通安全啓発活動を主に自治会の協力を得て行っています。

この1年間の活動実績をもとに、日本財団の青パト助成プログラムに応募したところ認められ、白黒に塗りわけた青パトを購入することができました。

平成30年6月14日、関係者など約100名が参加した「新」青パト車両の出発式が行われました。

犯罪・交通事故の減少を願う地域の方々の協力で、私たちの青パトはほぼ毎日、地域を巡回しています!



子ども、保護者の関心も高い

相模台地区自治会連合会

事務局／〒252-0321 相模原市南区相模台1-13-5(相模台まちづくりセンター内) ☎744-3148  
(平成30年4月1日現在) 人口 45,444人 世帯数 21,914世帯 自治会加入世帯数 12,256世帯(加入率55.9%)

★自治会への加入申し込み・ご質問は、お住まいの地域の自治会役員、または相模台地区自治会連合会事務局までご連絡ください。



## 地域一番の夏まつり

国病通り（現サウザンロード）にバスの運行が開始された昭和26年、町会名を「鶴ヶ丘自治会」として発足、68年を迎えました。現在2,087世帯です。自治会区域は、南台1丁目から6丁目までと広域におよび、同地域内には他に4つの自治会があり、共同の事業も行っています。

区域内に行幸道路が通っており、学区の関係から総合防災訓練・避難所訓練等は、相模台地区と大野南地区に分かれます。また、自治会区域を遮るように米軍住宅があり区画が複雑に入り組んでいます。

自治会の範囲が広いため、区制度を設け、各区の運営を区長と評議員が分担しています。定例役員会を月1回開催、年間の事業計画をもとに議論を重ね、実行に移しています。

また、広報活動として「自治会だより」を年間9回程度発行し、事業のお知らせや報告を掲載しています。

### 自治会法人 鶴ヶ丘自治会

自治会員の親睦を深めるための最大の事業は「鶴ヶ丘夏まつり」です。南台公園において、子どもと大人のパフォーマンスがくり広げられる地域一番の夏まつりです。その他、子ども達の「じゃが芋ほり」や「餅つき大会」、75歳以上を対象にした「敬老の集い」など、親睦と絆を深める様々な活動も行っています。



## ハロウィーンで活性化

昭和46年、新向町会から独立して相模野自治会が発足し今年で47年になります。また平成3年に相模原市自治会法人認可第1号を取得。自治会法人となり27年、責任がますます大きくなってきていると思います。

相模野自治会は相模台6丁目全域と7丁目の一部の地域からなり、現在、1,086世帯です。自治会の区域内には、県道村富線を挟んで、東に誠心第二幼稚園、桜台小学校、相模台中学校、西に若草小学校、若草中学校があります。

自治会は最大行事のふるさと祭り、防犯交通パトロール、防災訓練、美化地域清掃、さつまいも掘り、年末の餅つき大会、賀詞交歓会、どんど焼き、総会など各種の行事を行っています。

30歳代で家を建てた会員も高齢となり、長年住んだ地所が空き地となるなど自治会運営は難しい時代となっています。

一方そうした空き地に若い世代が家を建て移り住み、自治会に加入するケースも目立ってきています。これら若い世代の親子に、より積極的に自治会をアピールするため、若い世代が自治会館を利用し自治会活動に参加しやすい行事

### 自治会法人 相模野自治会

として、昨年10月末にハロウィーンを新たに始めました。

少子高齢化時代に自治会のあり方が問われています。当自治会も同様で、いかに若い人に自治会に興味と関心をもってもらえるか、ハロウィーンが一つのきっかけとなり、若い人の輪が自治会に広がっていけば良いと思います。





## 松原家族

生まれは、昭和43年4月、神奈川県相模原市（現南区）双葉1丁目で産声！

松原自治会と命名。

生まれた頃は街灯ひとつなく、夜道は民家の明かりと人魂の明かりが頼り、家と家の間は高く伸びたススキが「どうだ！」とばかり伸び放題、当然のことながら舗装道路もなく、大きなヘビヤカエル、ネズミの生活通り道！

いと恐ろしや！

昭和51年4月双葉小学校が開校、入学。

第1回目の運動会！約100世帯、小さいながらも楽しい我が家！そんな頃に第1回相模台夏祭りにも参加！

前後しますが、昭和48年4月には麻溝台中学校開校、入学。その頃の相模原市民30万人の一役を担っていたかな。昭和54年10月、以前から始めていたバレーボール、ソフトボールで相模台公民館区内での優勝！その後も地区体育祭優勝！などで大活躍！

昭和60年には150人家族となったものの、その後もなかなか増えず未だに160人家族、

## まずは、お隣様との交流を

私たちの自治会は現在、約220世帯で班は13あります。班長は、1年交替ですが、皆仲良くやっております。

もともとこの地域は畑地でしたが、昭和30年代に横浜、川崎から多くの養鶏場が移設されました。その後、かなりの養鶏場が他所に移転しましたが、現在も数か所残っています。以前は臭いがありましたが、現在は近代化設備をしまして、以前より快適に思います。

現在の麻溝台中学校も養鶏場の跡地ですが、今では子供たちが元気に勉学に励んでおります。

最近宅地開発も進み、若い住民も増え、そうした住民とのつながりも盛んになっているようです。これからは若い人たちの考えで進めていけたらいいのかなと思っています。

自治会では夏祭りや自主防災訓練などさまざまな活動をおこなっています。

まずは、お隣様との交流を深めていけば良いのではと思います。

## 松原自治会

50歳を迎え当初の松原住民も高齢者の仲間入り。血気盛んだった松原家族も衰退の一途か！！

いやいやまだまだ捨てたものではない。

相模台地区に松原家族有り！

を再編したいものです。



## 振興自治会

私たちの自治会には自治会館はありませんが、近隣に「さがみ緑風園」などの公共施設がたくさんありまして気軽に利用できています。

これからも近隣のみなさんとお互いに助け合いながら活動していきます。





# 自治会の要望がみのり「麻溝公園前交番」実現

平成30年3月、相模原市立総合体育館の駐車場脇に新しく「麻溝公園前交番」が開所、相模原南署管内では12番目の交番が誕生しました。

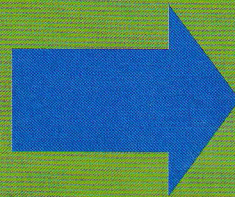
これまで、この地域は大沼交番（東大沼3丁目）が警察活動を担っていました。しかし管轄地域が広いことや、周辺には大学、大学病院、事業所などがあり慢性的に交通渋滞が発生し現場到着までの時間が予測できないなどの問題がありました。

こうしたことから、平成19年度の相模台地区市政懇談会で麻溝台自治会より交番新設の提案があり、これを受け翌年、相模原市長から県警本部長に対し要望が出されました。その後関係機関との間で調整が続けられ、新設となったものです。

新しい交番の管轄地域は、麻溝台、北里、双葉、御園4・5丁目、下溝(一部)となります。



大地震がきた！ が店から消えた！



普段から を備蓄しよう！

**約4割を静岡県で生産**

東海地震などで **静岡県の工場がダウン** すると…

店から が消えます！ 大地震に備え、**ローリングストック** を！

**目安は家族の1カ月分**

女性は男性の2倍、1日で約13m消費（シングル巻の場合）

ローリングストック  
って、な～に？

食品等を多めに備蓄し、定期的にその備蓄したものを取り入れ、消費した分だけ買い足していく備蓄法です。  
「ローリング」=回転させながら、「ストック」=蓄えておくこと。